

# 平成26年度 村上市学校保健部 活動報告

部長 高橋 紀子

## 1 研究主題

「児童の健康管理能力を育成するための養護教諭の支援」  
～心因性の来室者に対する養護教諭の判断と対応～

## 2 研究の概要

研究の一年次である昨年度は、心因性の保健室来室者に対し、養護教諭がどこに着目し判断しているのか、どのような対応をしているのかを『心因性来室者個人記録票』を使って整理した。

二年次である今年度は、各自が提出した『心因性来室者個人記録票』の中から一事例をあげ、事例検討会を行い具体的な支援策について意見を出し合った。また、保健室で活用できる認知行動療法の講演会を開催し、健康相談活動のスキルアップを図った。

## 3 活動の実際

- 5月 地区代表部員会
  - ・事業計画立案
- 5月 小教研全員集会（第1回部会）
  - ・研修内容と方法の検討
- 6月 研修会（第2回部会）
  - ・養護教諭教職5年経験者研修終了報告  
金屋小学校 養護教諭 小竹 有加 様
  - ・心因性来室者事例学習会  
発表者 保内小学校 養護教諭 平 久美子 様  
指導者 下越教育事務所 スクールソーシャルワーカー  
高木真知子 様
- 9月 研修会（第3回部会）
  - ・講演 「保健室で活用できる認知行動療法」  
講師 新潟認知行動療法リサーチセンター代表 小林奈穂美 様

## 4 成果と課題

今年度は、二年間の研究のまとめの年である。『心因性来室者個人記録票』を使って整理した個人の成果を、事例検討会を行い共有するように努めた。KJ法を使い考えられる支援策についてグループで意見を出し合ったことは、事例提供者に新たな気づきや方向性を助言することにもつながった。指導者からは、子どもが自立に至る過程の中で、「愛されている」「認められている」ことを実感できる親子関係を築くこと、発達課題が満たされて成長していくことが重要であると助言をいただいた。また、心因性来室者の対応に役立つため認知行動療法の研修会を行った。講義とミニ演習を通し、子どもの考え方や成人後の考え方の傾向や、保健室でできる聴き方の技術と支援について具体的に学ぶことができた。

子どもたちの抱える問題も多様化している。様々な背景をもった心因性来室者の対応や支援を的確に行い、子どもが本当に必要としている支援ニーズを見極める力量を身に付けられるようこれからも研修を積んでいく必要がある。